

## 第22回

## 全国トラック運送事業者大会 開催



全日本トラック協会は10月3日、第22回全国トラック運送事業者大会を宮城県仙台市の仙台国際センターで開催した。

東北トラック協会連合会が中心となり準備が進められていた今大会には、全国から1,450名のトラック運送事業者が参加した。

冒頭、開催地ブロックを代表して、須藤弘三東北トラック協会連合会会長の挨拶に続き、(公社)全日本トラック協会 坂本克己会長から「東北6県のトラック協会の皆様による、この1年間の努力があったからこそ、今日を迎えることができた。関係者の皆様方に改めて心より厚く御礼申しあげる」と挨拶が行われた。その後、大会参加者は2分科会に分かれ、それぞれのテーマごとにコーディネーター、パネリストを中心に討議を行い、第2分科会には当協会の越野運送株式会社 越野泰弘



挨拶をする (公社)全日本トラック協会 坂本克己会長

代表取締役社長がパネリストとして参加した。

各分科会終了後、記念講演では河北新報社 一力雅彦代表取締役社長から「再生へ心ひとつに～震災報道の現場から～」をテーマに講演が行われた。

この後、全体会議では「大会決議」について満場一致で採択された。

来賓挨拶では国土交通省奥田哲也 自動車局長及び宮城県 村井嘉浩知事からそれぞれ祝辞が述べられた。

続いて、次回大会開催地となる四国トラック協会連合会 栗飯原一平会長より次回は香川県で開催する旨の報告と大会参加を呼びかける挨拶があり、

参加者全員でガンバローコールが行われた。

最後に青森県トラック協会 木村英敬会長の閉会挨拶で今大会を閉会した。



第2分科会で説明をする  
越野運送株 越野泰弘社長

## ＜分科会テーマ＞

- ・第1分科会 「健康起因事故等交通事故防止対策の推進について」
- ・第2分科会 「労働環境の改善と生産性向上方策について」

## ＜大会決議＞

- 働き方改革を推進し取引環境の改善及び長時間労働の抑制並びに生産性の向上を図ろう
- 適切な原価管理に基づく適正運賃を収受しよう
- 若年労働力等を中心とした人材確保対策を推進しよう
- 交通・労災事故の防止及び環境・省エネ対策を積極的に推進しよう
- 高速道路料金の大口・多頻度割引最大50%の継続及び割引制度の充実を図ろう
- 自動車関係諸税の簡素化・軽減を実現しよう
- トラック運送業の健全化を図るため規制緩和の見直しを促進しよう
- 適正化事業の推進による法令遵守を徹底しよう
- 隊列走行等の新技術を活用した物流の効率化等を推進しよう
- 大規模災害発生時における緊急輸送体制を確立しよう